

第9回茂原市まちづくり条例策定協議会 傍聴者からの感想

日にち 平成26年9月25日
場所 茂原市役所市民室
傍聴者 11名
感想提出者 5名

【寄せられた感想等】（順不同）

- 会議に出席している委員の名前、立場等が傍聴者にも分かると良いです（例えば、委員の一覧表を配布するなど）。委員から「〇〇先生」という発言があり、何の先生なのかと思った。
- ざっくばらんな意見が出ていて良かったです。
- 物の考え方（信念、思想、物の見方）が意見の中に出ていて、考えさせられた。
- 言葉の定義が細かく、よくわからない。
- 発言者が特定の委員に偏っていて、ほとんど意見を述べなかつた委員もいるのは、なるべく多くの委員の意見を求めるよう、改善の余地があると思います。
- 協議会の議事録は市のホームページで見られるようになっていませんか。なっていないければ、見られるようにしていただきたいと思います。
- 市民の定義をせずに議論しているので、議論が空回りしている感がある。
- 第14条について、多様な集団を地域コミュニティとしているが、多様な集団は活動目的も違い、連携・協力することは難しいと考える。
- 第15条について、活動の支援とあるが、現在活動している団体等への補助金・助成金をカットしており、果たして可能なのか疑問。
- 第16条について、「地域まちづくり協議会」を設置することだが、各地域には連合自治会や小学校区単位に健全育成協議会等の組織があり、組織の上に組織をつくるのか。また、地区担当の職員配置とあるが、可能なのか。
- 第18条について、地域内の公共的課題の解決のために協働とあるが、例えば豊岡幼稚園について言えば、市民・議会で20年以上取り上げているが、市は対応していない。果たして協働のまちづくりは可能なのか。委員さんからの指摘もあったが、協働のまちづくりが実現できれば、議員の存在価値は薄れていくと感じる。